

行事報告書(研修)

報告者: 大地 祥子

行事名	甲山研修
実施日時	平成26年3月10日(月曜日) 10時~15時 天候:晴れのち曇り
場所	甲山森林公園内
テーマ	今月の樹「マンサク」・ 展葉フェノロジー・ 公園内の自然観察
講師	児玉勝久講師
参加者数	34名
内容 (項目と概要)	<p>1.今月の樹「マンサク」(児玉講師)</p> <p>名の由来は「まず咲く」「豊年満作」から名付けられたと言われる。自生地は本州の関東地方以西の主に太平洋側から九州までの山地。一方同属の「マルバマンサク」は北海道、東北地方から鳥取県の日本海側の山地に分布。</p> <p>2.講義「展葉フェノロジー」(飯盛さん)</p> <p>フェノロジーとは生物季節、あるいは生物気象(学)などと訳されているが、動植物は毎年季節的に同じ行動を繰り返しながら成長していく。シニア自然大学は本年3月に新しく「展葉フェノロジー調査会」が発足した。武庫ネイチャークラブも調査会の一員として協力することになった。そこで調査の方法、対象樹木、エリアの説明を受ける。</p> <p>次に児玉講師より、展葉フェノロジー調査の昨年の実例をもとに展葉の段階を学んだ。そして、過去3年のデータに基づく神戸地区の桜の開花日と2月、3月の平均気温との相関性がある。又気象庁の場合は、3月の平均気温と開花時期の相関性があり、だんだん早まっている事が公開されている。</p> <p>3.野外観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 展葉フェノロジー対象樹木(展望台の南側、軽登山道の南側) <ul style="list-style-type: none"> 常緑樹(イヌツゲ、カナメモチ、シャリンバイ、ソヨゴ、ヒサカキ、ヒメユズリハ、ヤブツバキ) 落葉樹(オオバヤシャブシ、コナラ、コバノミツバツツジ、ネジキ) 半常葉樹(モチツツジ)の枝に目印を付ける作業を行った。 ・ 親子ファミリー教室対象樹木(みどり橋、みくるま池周辺) <ul style="list-style-type: none"> ハンノキ、サクラバハンノキ、蕾のものヒサカキ、サンシュユ、ネコヤナギ 花はミツマタ、ヤブツバキ、果実はイイギリ、ホルトノキ等 <p>4.観察終了後、児玉講師より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新年度16名の新人を迎える事となった。 ・研修会8月、1月は水曜日にアプリ甲東で実施する。
まとめ感想	時おり雪がちらつく寒い日であったが、植物は蕾を膨らませ春を迎える準備をし、鳥の鳴き声も心地よく響いていた。



展葉に関する 飯盛講師の講義



展葉に関する 児玉講師の講義



オオバヤシャブシの開き始めた葉芽



展葉調査のネームプレートの貼り付け作業